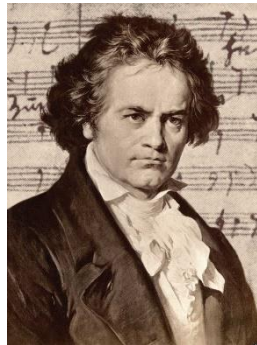


11 月(第 14 回)・クラシック音楽鑑賞会(ベートーヴェン)のご案内

◎ ベートーヴェンの功績

●音楽に芸術的意味をもたせた

ベートーヴェン以前の音楽家は、宮廷や有力貴族に仕える事が普通でした。そして音楽は、冠婚葬祭や晩餐などの特定の機会のために存在していた。つまり当時の音楽は、純粋に聴く事を楽しむものではありませんでした。しかしベートーヴェンはこの常識に風穴を開けます。貴族との主従関係によって存在する音楽のあり方を拒否し、大衆に向けた音楽を作曲し続けました。ベートーヴェンが「**音楽家は芸術家・アーティストである**」と公言した事は、音楽のあり方を根本的に変えてしまう出来事でした。



●音楽の新たなアプローチの追及

ベートーヴェンはとにかく新しいアプローチを追求し続けました。例えば「交響曲第 5 番《運命》」の最初の「ジャジャジャジャー」というフレーズ、「交響曲第 9 番」の合唱等、当時初めて取り入れられたアプローチが数多くあります。ベートーヴェンの楽曲には「**キャッチーさ**」「**わかりやすさ**」という工夫が随所に盛り込まれているのです。その一方で先ほどの「交響曲第 5 番《運命》」は細かく繊細なフレーズも多くあります。

要はわかりやすさと繊細さのバランスが絶妙です。(HISTORY STYLE より抜粋)

◎日 時 2022 年 11 月 27 日 (日) 14:00~16:00 (開場 13:30)

◎場 所 恩田地域ケアプラザ (2 階) ※あかね台中学校隣接

◎講 師 渡部 幸世先生 (東京芸術大学卒業、音楽プロデューサー)

◎曲 目 ベートーヴェン作曲 Vol-5
歌 劇 「フィデリオ」

◎参加費 500 円 (当日支払い)

◎お申込 必要ありません。直接会場にお越し下さい。
(ふれあい会会員以外の方も参加できます。)

○問合せ 世話役 矢後 (やご) 045-984-6325

○お願い 当日はコロナ対策として、マスク着用、スリッパをご持参下さい。
また、当日、体調が優れない方は、参加をご遠慮下さい。

以上